記者発表資料

令和２年１月１７日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について
（第二部会第３回定例会議）

東北地方整備局入札監視委員会の令和元年度第二部会第３回定例会議が、令和元年１２月１８日（水）に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

なお、第二部会第３回定例会議では、委員会が抽出した案件５件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局
（第二部会）仙台市青葉区本町３丁目３番１号　　TEL (022)716-0013(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)
契約管理官　山田（やまだ）　賢（まさる）　（内線６２２１）
経理調達課課長補佐　山内（やまうち）　恵（めぐみ）　（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）　審議概要

<table>
<tr><td>開催日及び場所</td><td colspan="3">令和元年12月18日（水）　東北地方整備局　会議室</td></tr>
<tr><td>委員</td><td colspan="3">部会長　我妻　崇【弁護士】
部会長代理　小出　英夫【（学）東北工業大学　工学部　教授】
委員　砂田　洋志【（国）山形大学　人文社会科学部　教授】</td></tr>
<tr><td>審議対象期間</td><td colspan="3">令和元年7月1日　～　令和元年9月30日
（上記期間に契約締結した案件を審議）</td></tr>
<tr><td>審議案件</td><td colspan="3">総件数　5件　（別紙－1　審議案件一覧のとおり）</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="5">工事</td><td>一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）</td><td>1件</td></tr>
<tr><td>一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）</td><td>1件</td></tr>
<tr><td>工事希望型競争入札</td><td>0件</td></tr>
<tr><td>指名競争入札</td><td>0件</td></tr>
<tr><td>随意契約</td><td>1件</td></tr>
<tr><td colspan="2">建設コンサルタント業務等</td><td>1件</td></tr>
<tr><td colspan="2">役務の提供等及び物品の製造等</td><td>1件</td></tr>
<tr><td colspan="3">（備考）
・審議に先立ち、下記(1)～(8)について、報告が行われました。
(1)工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況
(2)指名停止等の運用状況
(3)談合情報等の対応状況
(4)再度入札における一位不動状況
(5)低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況
(6)一者応札の発生状況
(7)不調・不落の発生状況
(8)高落札率の発生状況</td></tr>
<tr><td>委員からの意見・質問、それに対する説明・回答</td><td colspan="3">別紙－2のとおり</td></tr>
<tr><td>委員会による意見の具申又は勧告の内容</td><td colspan="3">本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。</td></tr>
</table>

別紙―1

審　議　案　件　一　覧

【工事】

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：％）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	小名浜港東港地区岸壁(-16m)(耐震)上部工事	港湾土木工事	4者	4者	R元.8.28	東洋建設（株）	1,080,661	91.50%	小名浜港湾

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：％）	備　考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設本体外工事	港湾土木工事	4者	4者	R元.7.17	若築建設（株）	418,000	99.80%	八戸港空

入札方式	工　事　名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：％）	備　考
随意契約方式	山形県酒田沖ＧＰＳ波浪計緊急揚収工事	港湾土木工事	－	－	R元.9.5	（株）本間組	11,440	99.36%	仙台港空技術調査

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業　務　名	業種区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契　約 締結日	契約の相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：％）	備　考
簡易公募型プロポーザル方式	仙台塩釜港における浚渫土砂を活用した海域環境効果検討業務	建設コンサルタント等	1者	1者	R元.7.30	みなと総合研究財団・復建調査設計 設計共同体	19,800	99.80%	塩釜港空

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業　務　名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契　約 締結日	契約の相手方	契　約 金　額 （単位：千円）	落札率 （単位：％）	備　考
一般競争入札方式	むつ小川原港ケーソンヤード排水ポンプ修理	役務の提供等	1者	1者	R元.7.5	クボタ機工（株）	22,000	93.50%	仙台港空技術調査

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
・高落札率になった案件が、特定の港で多いようである。事務所担当には、どのように指導しているのか。	・今回は、工事種別、発注標準、陸上・海上と現場条件も異なり、対応する技術者も使用資機材も違ってくるため、それぞれの事情により生じたものと考えております。 　ご指摘の点については、担当者会議等の機会を利用して、情報共有を図っているところです。
・価格カルテルによる指名停止があるが、どのようにして情報が分かるのか。	・公正取引委員会による公表がありますので、その情報を基に措置しております。
・工事種別ごとの入札状況に係る報告については、今後とも継続して伺いたいと思いますので、よろしくお願いします。	・了解しました。

２．審議	
意見・質問	説明・回答
１　小名浜港東港地区岸壁(-16m)(耐震)上部工事	
・高額案件であるにも拘わらず、各社の応札価格が近似値となるのは何故か。	・積算基準、見積参考資料や各種単価も公表済みであること、また過去の同種工事の積算内訳書も公表されていることから、各入札者において精度の高い積算が可能であったと思われ、受注意欲の表れとして、調査基準価格ラインに集中したと推察しています。 　また、４者の応札の開差額は最大で約２０万円程度でありますが、内訳を見ると直接工事費、間接工事費、一般管理費の経費が４者それぞれにおいて開差が見られ、応札各社の考え方が反映されたものと考えられます。
・入札各社の工事費内訳がそれぞれ異なっていて、それでもほぼ同額になるのは何故か。	・応札各社とも受注を目指して調査基準価格ラインに張り付くために、官積算による予定価格を推計したうえで各工事費内訳に調査基準価格算出率を乗して計算していると考えられます。 　また、過去の同種工事の積算についても、情報公開を活用して参考としているようです。
・予定価格から調査基準価格はどのようにして分かるものなのか。	・調査基準価格の算出方法については、入札公告資料のうち入札説明書別紙に記載があり、各工事費内訳に乗ずる比率を確認できます。
・もしそうだとしたら、高落札率案件については、どのような問題意識があって、チェックを行っていることになるのか。	・高落札率については、競争原理が働いていないのではないかとの懸念から、より慎重に対応しているところです。
２　八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設本体外工事	
・施工体系図の１次、２次、３次というのは、どういう意味なのか。	・下請契約の階層を表しており、１次は元請けとの、２次は１次との、３次は２次との下請契約となっております。
・本官契約である本工事に、分任官契約の受注者が下請業者となっているが、通常よくあることなのかどうか確認したい。	・下請けとなる契約についても、他工事に専任されていない主任技術者を配置して、別件工事を施工することは通常行われております。 　本工事の下請けとなった者は、地元対象となる小規模な分任官発注工事には参入できますが、ＷＴＯ対象など大企業向けとなる本案件には工事規模が違うため、参加できません。 　また、本工事のように作業船を要する工事では、船舶を保有している地元企業が、本官契約を受注した大企業の協力会社として施工体系図に見受けられています。
・４者が入札しているが、今回下請けとなっている業者が、他の入札参加者の下請けとなることもあるのか。	・本工事のように作業船を要する工事では、在場する船舶を保有する会社が限られるなどの事情から、可能性はあると考えられます。

・施工体系図は、どの時点で提出されるものなのか。	・契約締結後に提出することになっておりますが、現地着手となる初回施工会議時点においても確定に至らないこともあります。
・資料をダウンロードした者はどの位いたか。	・技術資料の提出が可能な５１者のうち、入札説明書をダウンロードした者は１３者です。うち４者が参加申請しており、参加申請しなかった者は９者でした。
・予定価格超過した者にはヒアリングをしているのかどうか。	・今回は予定価格超過者があったため、全者ヒアリングしております。 予定価格超過者は、型枠調達や足場、鉄筋、コンクリート打設の費用が嵩んでおり、型枠については、見積活用方式を採用しておりますが、施工場所が交通不便な六ヶ所村という事情もあったものと考えられます。
３　山形県酒田沖ＧＰＳ波浪計緊急揚収工事	
・随意契約から抽出された本案件については、委員としてどのような確認をすればいいのか。	・契約に至る手続き過程について、公正性・透明性などの観点で適正に運用されているかどうか、ご審議いただければと思います。
・緊急性があったということについて、どのように判断したのか。	・チェーン厚が薄くなって安全率を切る状況で、この冬の波浪に耐えられないと予想されたため、また、１０月以降は日本海側では冬季風浪により海象条件が厳しくなるため、海上作業不可能となることからも、緊急揚収せざるを得ないと当局が判断したものです。
・安全率について、基準がありますか。	・法令上、定められた基準はございませんが、運用により管理しているところです。 緊急揚収は全国初になりましたが、他地方では実際に切れて流れ出すといった事態もあり、日本海側の船舶航行安全に支障を来すと考え、緊急にやらざるを得ないと判断した次第です。
・災害協定によりということだが、今回の事象は災害に当たるものなのかどうか。	・一般航行船舶への衝突の危険ということで、その他に当たると考えております。 本協定の目的として、災害が発生した場合における被害の拡大防止とありますが、災害の未然防止の概念で行っており、ご指摘のとおり若干拡大解釈になるかも知れませんが、事態の緊急性からやむを得ないものと考えております。 なお、このような事態に際して、明示的に読み取れるようにするなど、今後の見直しのタイミングで考えていきたいと思います。
４　仙台塩釜港における浚渫土砂を活用した海域環境効果検討業務	
・参加要件として、建設コンサルタントＡ等級が必要な資格かどうか、もっと多くの者に参入拡大できないのか。	・業務自体が、高度な専門的技術が要求されるもので、環境効果や事業について、新しい手法を作るという内容となることから、委員会を運営して研究者の方々から意識調査データの検証等の意見をいただきとりまとめていくため、難易度が高いと判断しました。 また、本業務概算規模は２千万円となっており、業務規模で４８０万円以上のものは、Ａ等級を発注標準としております。
・本業務は、大学が受注して実施することはできないのか。	・現在のところ、大学として建設コンサルタント資格登録をしているところは確認されておりませんので、競争方式による業務には参入できません。 また、本業務における委員会の構成については、海洋海域における環境について研究している研究所・大学教授・ＮＰＯ等で構成しているところです。 このほか、本業務は前年度発注業務において、仙台塩釜港の浚渫土砂の現況把握、及び松島湾における干潟・浅場の生態系サービスの定量化検討を行っており、それをベースに実施するものとなっております。
・建設コンサルタント登録されている者はどの位いるのか。	・全登録者数１，７２３者で、うちＡ等級で１，４５８者、Ｂ等級で２６５者と、大部分の者がＡ等級に格付けされております。

・大学との共同研究などの実績はあるのか。	・大学との共同研究については、東北では実績はありませんが、平成２１年度に大学が所有するデータベースを活用する委託業務としての事例はございます。
５　むつ小川原港ケーソンヤード排水ポンプ修理	
・特殊なものなので、参加者が１者だけとなったのか。	・これまで、むつ小川原港ケーソンヤードの機械関係の修理を実施した受注者は２者いましたが、近年参加業者は１者となっています。 　なお、ヒアリングによりますと、一方の者において専門技術者の減少により技術者を確保できず、入札参加が不可能となったとの回答があり、現在は残る１者により何とか対応できている状況です。